

### 4-1-3 仕事の成果（問 24）

問 24 の 3 項目を合成変数化し、平均値を「仕事の成果」得点とした。

「仕事の成果」得点の平均値は 3.33（標準偏差=0.69、最小値=1、最大値=5、中央値=3.3）であった。

問 24 今の仕事の成果についてお聞きします。それぞれについて、もっともよくあてはまるものに○をつけてください。(まったくそう思わない[1点]～とても思う[5点])

表 4-5 「仕事の成果」を測定する質問内容と平均値

質問内容	平均値
(1) 今の仕事において、自分が立てていた目標は達成できている	3.17
(2) 今の仕事において、私は同僚、上司から信頼されている	3.40
(3) 今の仕事において、私の意見やアイデアは良く採用される	3.41

図 4-5 「仕事の成果」得点の人数分布

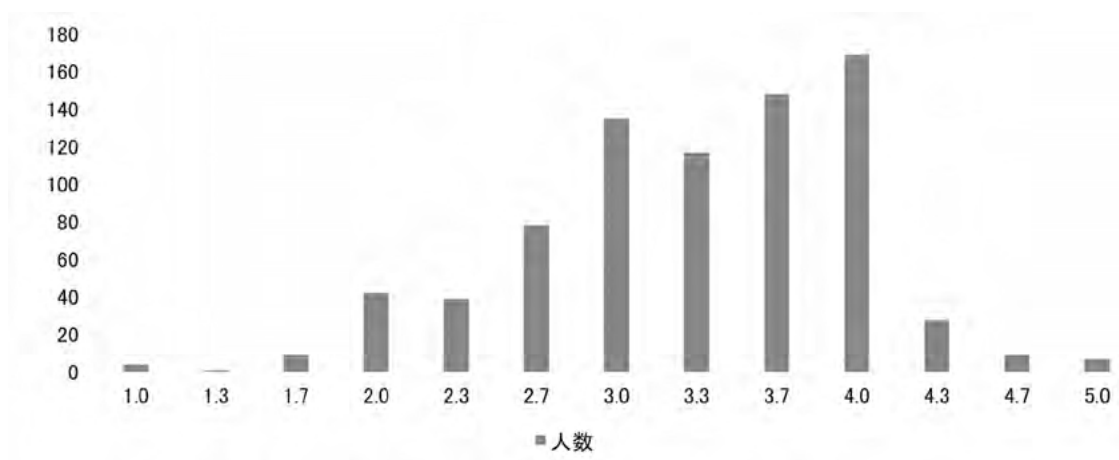
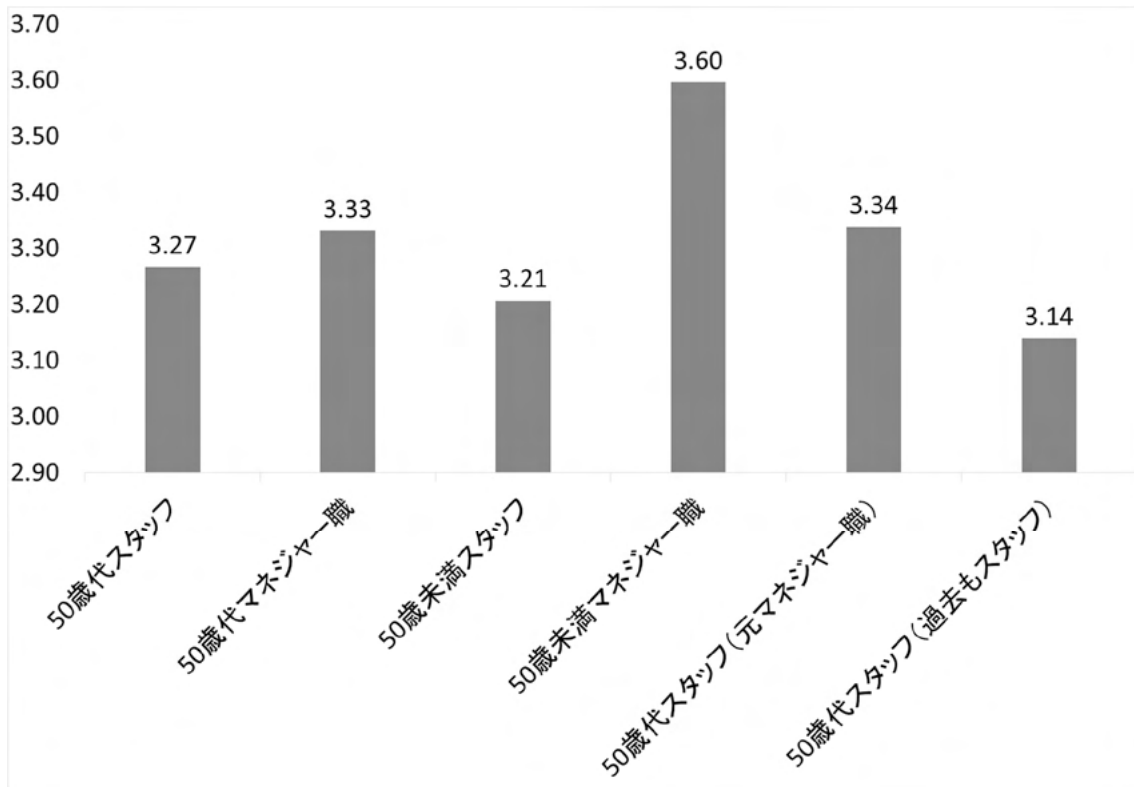


図 4-6 3つの比較軸と「仕事の成果」得点



3つの比較軸と仕事の成果の得点を見ると（図 4-6）、50歳代マネジャー職の仕事の成果（3.33）は50歳代スタッフ（3.27）とほとんど同じ水準である（比較軸①）。また、50歳代スタッフのうち、元マネジャー職の仕事の成果（3.34）は過去もスタッフ（3.14）よりも0.2ポイント高い（比較軸②）。そして、50歳未満マネジャー職の仕事の成果（3.60）は50歳未満スタッフ（3.21）に比べて、0.39ポイント高い（比較軸③）。

50歳未満マネジャー職の仕事の成果と、50歳代マネジャー職の差が0.27ポイントある。この結果は、同じマネジャー職であっても50歳代のマネジャー職についている者は、50歳未満のマネジャー職についている者に比べて、仕事の成果が思うように残せていない可能性があることを示している。